

わたしの 妊娠報告書

記載日 2013 年 8 月 10 日

おめでた宣言日	2013 年 11 月
年齢 (37) 歳	平成 (21) 年 (9) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(1) 年 () ヶ月
他院での治療歴	<input checked="" type="checkbox"/> なし あり→内容 ()
ASKA での治療歴	
一般不妊治療	
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法	(8) 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法	() 回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精	() 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精	() 回
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法	() 回
<input type="checkbox"/> 体外受精	() 回
<input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精	(2) 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

考えすぎないように心がけていました。考えはひめ子と止まらなく「ほらど...」
 自分のできる範囲でできることをして、ムリならあきらめようと 思っていました。
 たばこ、アルコール、気もちの浮き沈みはあり、気分転換がしのいでました。
 妊娠しましたよ、と聞いた時は「びっくり」とか「おめでとう」はあ... と
 あんまりうれしくありませんでした。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

タイミングをばかりではがら、旦那の検査とすると、自然妊娠は
難しいことがわかったので、段階をとりまして、顕微授精と取りました。
それ以上のステップアップはないので、もしも42週間超えたら、どうするか
はよく相談しました。

その他（通院・治療費・家族など）

幸い自宅から自転車で行き来できることだったので、通院に大きな問題は
ありませんでした。治療費も共済だったので、特に問題ありませんでした。
何回チャレンジするかは、3-4回自分で旦那と話しあっておくつもりです。

治療中の方へのアドバイス

ぐちを言える人を見つけること、気分転換の手段を考えること。

うすくはないことと、自分のせいにはしないこと。

On going の治療はできなければいいこと。

スタッフへのご意見など

対応がとてよいくて、ストレスなく通院することができました。
ありがとうございました。